

平成31年度 行政評価事業別シート

実計対象	<input checked="" type="checkbox"/>	評価対象	<input checked="" type="checkbox"/>	新規	<input type="checkbox"/>	完了事業	<input type="checkbox"/>	ゼロ予算事業	<input type="checkbox"/>	担当者	宮沢 吉浩
全体計画						経費区分		実施計画事業費		内線	246-9000
事務事業名	4142 ごみ処理施設運営事業										
所 属	121000 市民環境部・生活環境課										
施 策	03011200 循環型社会の形成と環境衛生施設の適切な管理										
予算科目	会計	01 一般会計									
	科目	040202 衛生費・清掃費・清掃センター費									
	事業	030000 ごみ処理施設運営事業									
事業目的						事業概要・効果					
市内から排出された一般廃棄物の適正処理及び管理を行い、健康且つ清潔で衛生的な市民生活の確保を図る。また、廃棄物のリサイクルを推進し、循環型社会の形成を促進する。						不燃ごみの適正処理及び資源物を分別リサイクルし、循環型社会の形成を促進する。また、焼却停止に伴う、ピット内の清掃、設備の一部撤去等を実施するとともに、不燃ごみ処理施設の必要な修繕等を実施し、安全で適正なごみ処理を行う。					

PLAN-DO

年度実績及び予定

平成27年度 実績	平成28年度 実績
ごみ処理施設及び粗大ごみ等処理施設の適正な運転管理を行い、安全かつ安定したごみ処理を行った。	ごみ処理施設及び粗大ごみ等処理施設の適正な運転管理を行い、安全かつ安定したごみ処理を行った。
平成29年度 実績	平成30年度 実績
ごみ処理施設及び粗大ごみ等処理施設の適正な運転管理を行い、安全かつ安定したごみ処理を行った。	ごみ処理施設及び粗大ごみ等処理施設の適正な運転管理を行い、安全かつ安定したごみ処理を行う。また、粗大（不燃）ごみ処理施設の改造工事の準備をする。
平成31年度 予定	令和 2年度 予定
ごみ処理施設及び粗大ごみ等処理施設の適正な運転管理を行い、安全かつ安定したごみ処理を行う。また、粗大（不燃）ごみ処理施設の改造工事を実施する。	ごみ処理施設及び粗大ごみ等処理施設の適正な運転管理を行い、安全かつ安定したごみ処理を行う。

指標名	客観性のある安定した指標が困難である。					
算式						単位
年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	令和 2年度	
目標値	目標					
	実績					
指標選定の理由						
最終年度目標の根拠						
指標名						
算式						単位
年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	令和 2年度	
目標値	目標					
	実績					
指標選定の理由						
最終年度目標の根拠						
指標名						
算式						単位
年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	令和 2年度	
目標値	目標					
	実績					
指標選定の理由						
最終年度目標の根拠						

事業費

(単位：千円)

		平成30年度 決 算	平成31年度 予 算
事業費		175,792	75,031
特定財源	国庫支出金	0	0
	都道府県支出金	0	0
	地方債	0	5,400
	その他	221,645	1,449
一般財源		△45,853	68,182
人員数(人)	正規職員	4.2	3.2
	嘱託職員	7.8	3.0
	臨時職員	0.0	0.0
人員コスト	正規職員	30,030.0	22,880.0
	嘱託職員	22,425.0	8,625.0
	臨時職員	0.0	0.0
	計	52,455.0	31,505.0
市民一人当たりの経費		4.4	2.0
総額		228,247.0	106,536.0

(単位：千円)

平成30年度決算 事業費の内訳		
主な節	金額	内容
8節 報償費	0	
11節 需用費	93,350	消耗品費9,745、燃料費4,328、電気料30,332、修繕料48,898外
13節 委託費	43,545	設計委託料3,812、ばいじん量等測定委託料1,683、焼却灰等処分委託料31,225、シルバー人材センター委託料2,841外
15節 工事請負費	0	
19節 負担金補助及び交付金	0	
その他	38,897	土地借上料5,163、嘱託職員報酬28,833外

(単位：千円)

平成31年度当初予算 事業費の内訳		
主な節	金額	内容
8節 報償費	0	
11節 需用費	35,655	消耗品費7,700、燃料費3,500、電気料19,400、修繕料5,000外
13節 委託費	11,282	監理業務委託料900、ばいじん量等測定委託料2,500、焼却灰等処分委託料2,241、シルバー人材センター委託料947外
15節 工事請負費	6,500	粗大ごみ処理施設改造工事6,500
19節 負担金補助及び交付金	0	
その他	21,594	土地借上料5,163、嘱託職員報酬13,228外

CHECK

個別評価		
項目	評価観点	評価内容
必要性	<ul style="list-style-type: none"> 市民の生命・財産を守るため市が実施することが必要不可欠な事業であるか 行政内部の管理運営上必要な事業であるか 市が主体となり実施すべき事業か 法的な根拠や公的関与の妥当性はあるか 目的は結果（施策の目指す理想）に結びついているか 	必要不可欠
評価コメント	廃棄物を適正に処理するうえで、必要不可欠な事業である。	
有効性	<ul style="list-style-type: none"> 事業の成果は上がっているか 目標に対する達成度は十分か 市民生活上の課題解決に貢献しているか 行政内部の管理上の課題解決に貢献しているか 事業の目的が達成できるような事業内容になっているか 	普通
評価コメント	廃棄物の処理について、継続して適正な処理を実施した。	
効率性	<ul style="list-style-type: none"> 成果を落とさずにコストを削減する方法はあるか 効率性向上に努めているか 使用料などの受益者負担や補助対象事業の範囲など、財源確保の余地はないか 	変わらない
評価コメント	廃棄物を安全に適正な処理を行わなければならない、コストの削減は難しい。	

振り返り（決算年度の取組み課題）

可燃ごみの広域化に伴い、当センターでの不燃ごみ処理を継続して実施するため、粗大（不燃）ごみ処理施設の改造工事における精密機能検査及び改造設計業務を実施した。

ACTION

1次評価

2次評価

次年度以降の方向性	総合計画に沿って継続	次年度以降の方向性	総合計画に沿って継続
総合評価コメント		2次評価コメント	
衛生的な市民生活を維持するためにも必要不可欠な事業である。安全かつ安定したごみ処理に努める必要があり、可燃ごみが広域処理化された後も、粗大（不燃）ごみ処理施設を改修し、適切な維持管理を図る。		不燃ごみ（粗大ごみ）処理は、老朽化した清掃センター施設で引き続き適正な運転管理を行い安全かつ安定して処理していく必要がある。	

外部評価

次年度以降の方向性	
外部評価コメント	